

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	12-1
PDCA	主要事業名	就農者支援事業	部課名	市民経済部産業課	担当	花田
					内線	316

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 3 単位施策： 農業					
	全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 22,200 千円					
	会計		一般会計		歳出科目： 05.01.03.02.51	
	事業概要等	事業概要： 経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、農業次世代人材投資資金を交付する。令和4年度交付の方は、新規就農者経営発展支援事業（経営開始資金および定額助成）を活用する。				
		事業目的： 新規就農者に対して、資金を交付することにより、就農後の定着を図り、青年就農者の増加を図る。PR強化をし、新規就農者を確保する。				
		事業内容： 農業次世代人材投資資金の交付等。				
		問題点： 農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続可能な農業を実現するに課題等： は、青年等の新規就農を増加させる必要がある。				
	予算額	主要事業とする理由				
	22,200 千円	農業従事者の高齢化が急速に進展するなか、持続可能な農業を実現するには、青年等				
	財源内訳	の新規就農を増加させる必要があるため。				
	市費	得られる成果				
	0 千円	新規就農者に対して補助金を交付することにより、就農初期における資金不足を支援し、持続かつ安定した就業につなげる。				
	国費	目標値や目指すべき状態				
	0 千円	令和3年度 令和4年度 令和5年度 単位				
	県費	認定新規就農者認定数				
22,200 千円	実績値 2 1 - 人					
その他	目標値 2 3 3 人					
	実績値					
	目標値					
	実績値					
0 千円	目標値					

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果			
	7,125 千円	経営開始直後の新規就農者に対して資金を交付することにより、早期の経営発展と定着を図ることができた。			
		成果指標			
		令和5年度 単位			
		認定新規就農者認定数			
		実績値 1 人			
		目標値 3 人			

C 課題の整理	事業の評価・課題	D			
		県やJA等の関係機関と連携を図り、認定新規就農者を1名確保した。また、新規就農者の農業経営を支援するための農業次世代人材投資資金および新規就農者育成総合対策事業補助金については、7名に補助金交付や就農状況確認を行い、就農後の定着を図った。（離農者0名） また、農業大学校を訪問し、半田市独自の就農者向けパンフレットの配布及び半田市で就農する魅力についてPRを行った。学生からは多くの質問があり、半田市での就農に対し関心の高さを感じた。 新たな取組として、SNSやはんだ市報特集ページにおいて半田の農家の魅力発信を行い、就農へつながる機会の創出を図った結果、就農相談件数増加につながった。（R5相談件数16件・R4相談件数13件）			

A 課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進			
		引き続き、県やJA等の関係機関と連携を図り、新規就農者の確保へつなげていく。また、新規就農者向けパンフレットを活用し、農業大学校等にて半田市で就農する魅力についてPRを行う。 さらに、就農後も将来の担い手に繋がるように、新規就農者育成総合対策事業を活用し資金面での支援を行い、離農者0名を目指す。			
	観点別評価	必要性	有効性	効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	ない
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	※対象・手段の変更	
③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用